

()

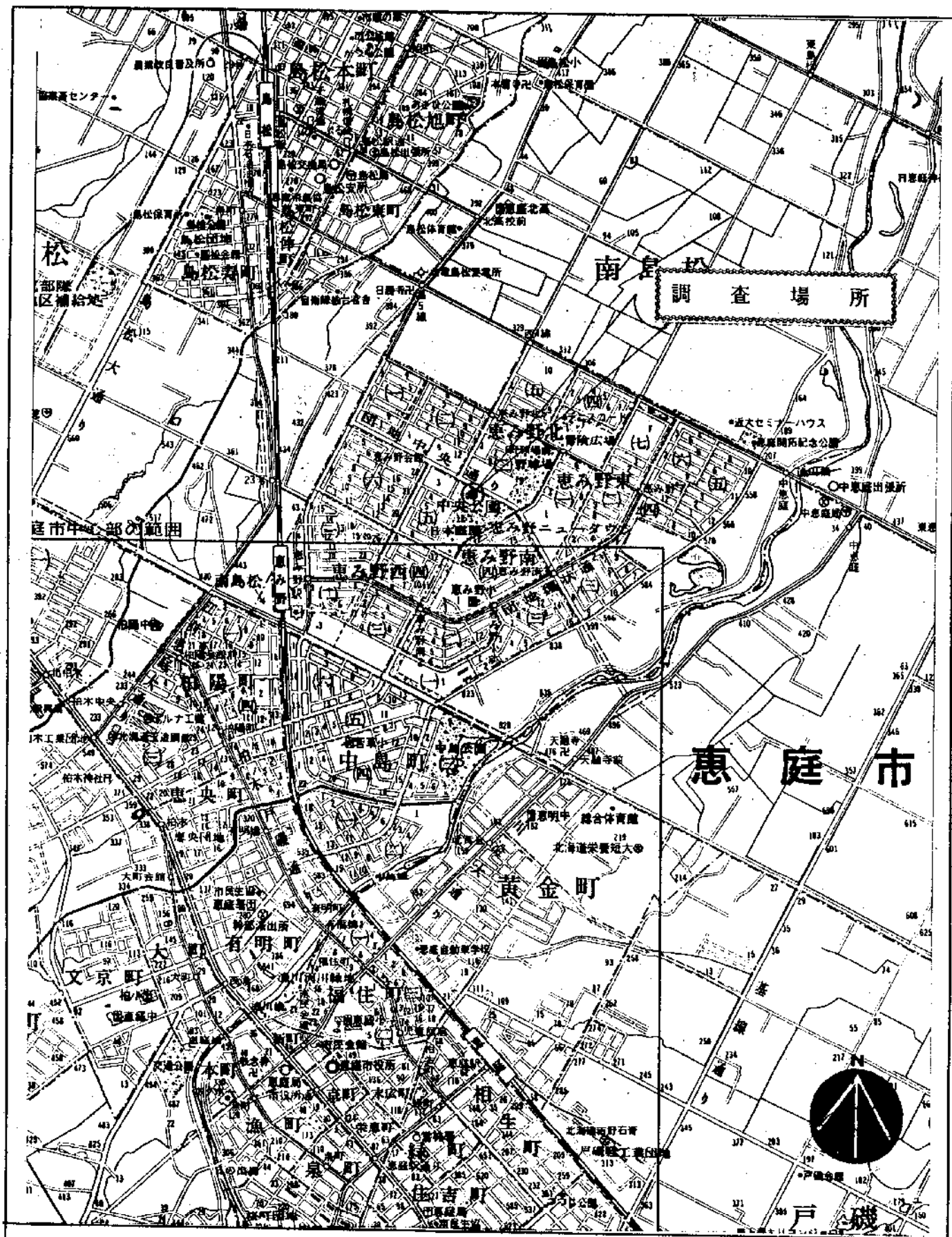
恵庭市立図書館新築工事地質調査委託

報 告 書

平成 2 年

調 査 (株)建設コンサルタント

電話 (代)737-1111



附近案内図

1/25000

47 000

敷地境界線 100 000

31 500

ボーリング試験地点 B

ボーリング試験地点 A

建設予定建物

18 500

敷地境界線 100 000

30 500

早稲田 - 2

早稲田 - 1

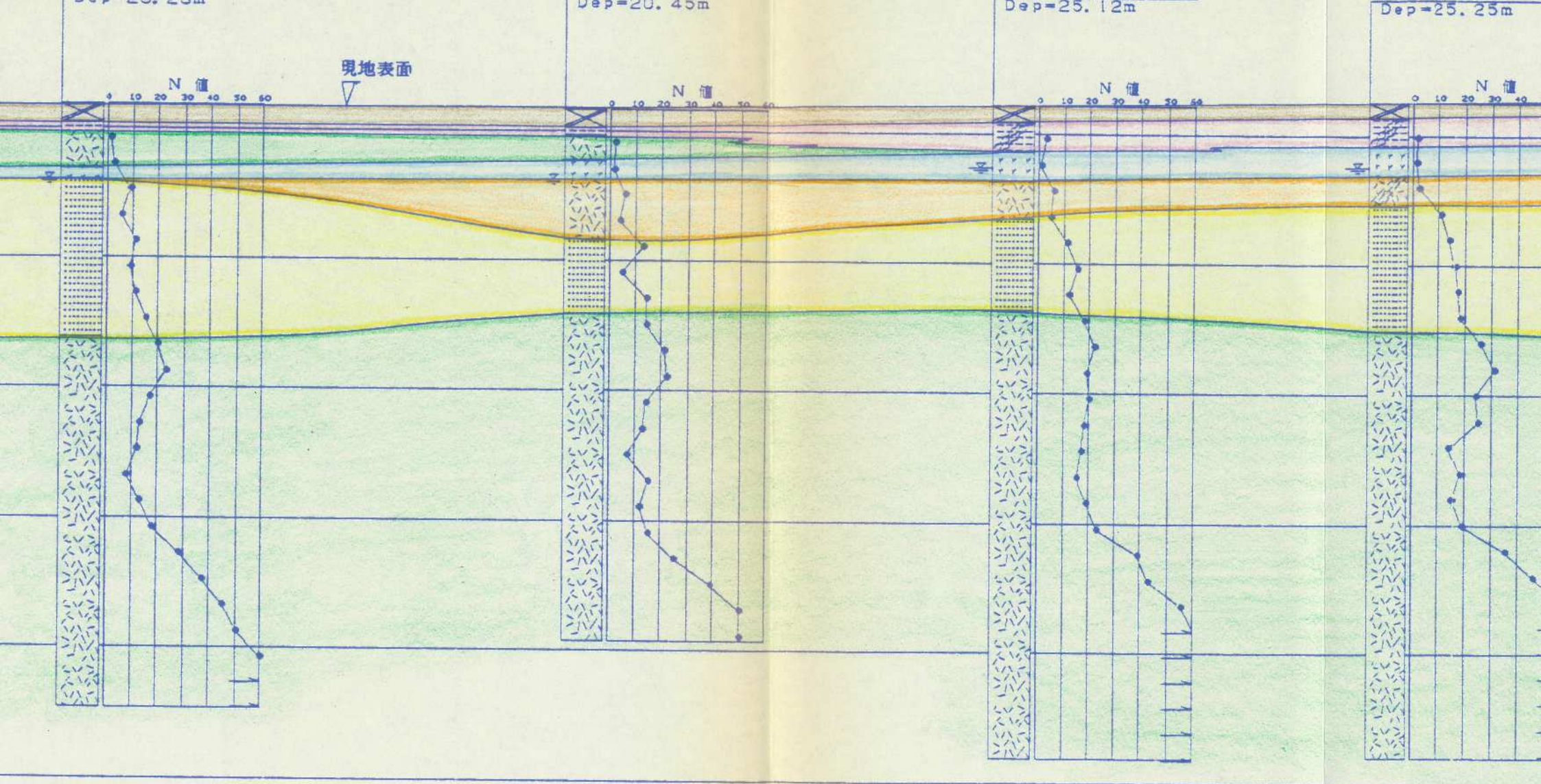
道路境界線 95 200

道路巾員 20 000

仮BM(±())位置

新地端界坑





推定地層断面図

A		調査位置		恵庭市恵み野西5丁目10-2				北緯	
恵庭市役所				調査期間		1990年 月 日~1990年 月 日			
株)建設コンサルタント 電話(011-737-1111)		主任技師		藤田義治		現代場人		藤田義治	
コ定者		上松弘和		ボーリング責任者					
KBM 1.825m 0.45m	角 度	180 上 90 下	方 向	北 270 西 90 東 180 南	地盤 分配	水平 90	使用 機種	試錐機	試錐機
								エンジン	ヤンマー NF-110
								ハンマー 落下用具	ポンプ

柱状 図	土質 区分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験					原位置試験	
						孔内 水位 (m)	深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃 回数 の 算入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および 結果
	盛土	暗乳灰			火山灰 火山質シルト 火山礫等を 不均一に混入する		1.15	1	1	2		
	火山質 シルト	暗乳灰	軟質		腐植物を少量混入する		1.45	15	15	30	2	
	火山灰	暗乳灰	緩い		粒子不均一で火山質の砂を少量混入 する		2.15	1	1	2		
	泥炭	黒褐	締め て軟質		全体に繊維質である 含水はやや多い		2.70	20	15	35	2	
	火山灰	暗乳灰	緩い		4.00m付近に木片を混入する 粒子不均一 局部的にシルト質を呈する		3.15	1	2	3	8	8
							3.45				30	
							4.15	1	1	2	4	4
							4.45				30	
							5.15	4	4	5	13	13
							5.45				30	
							6.15	2	2	1	5	5
							6.45				30	
							7.15	4	5	5	14	14
							7.45				30	
							8.15	4	4	6	14	14
							8.45				30	
							9.15	6	7	8	21	21
							9.45				30	
							10.15	6	7	9	22	22
							10.45				30	
							11.15	4	5	5	14	14
							11.45				30	
							12.15	4	4	5	13	13
							12.45				30	
							13.15	2	2	3	7	7
							13.45				30	
							14.15	4	5	6	15	15
							14.45				30	
							15.15	3	4	5	12	12
							15.45				30	
							16.15	4	5	6	15	15
							16.45				30	
							17.15	6	8	11	25	25
							17.45				30	
							18.15	12	12	15	39	39
							18.45				30	
							19.15	13	17	20	50	50
							19.45				30	
							20.15	15	16	19	50	50
							20.45				30	

B		調査位置		恵庭市恵み野西5丁目10-2				北緯	
恵庭市役所				調査期間		1990年 月 日~1990年 月 日		東経	
建設コンサルタント 電話(011-737-1111)		主任技師		藤田義治		現場代理人		藤田義治	
						コア		上松弘和	
						鑑定者		ボーリング責任者	
角 度		180° 上 90° 下		方 向		北 0° 270° 西 180° 南 90° 東		地盤公配	
3m				水平		使用機		試錐機	
						鉦研式OP-1型		ハンマー 落下用具	
						エンジン		ヤンマー NF-110	
								ポンプ	

柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	
							深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			N 値 —o—	深 度 (m)	試験名 および結果
								0	10	20			
火山灰シルト	火山灰シルト	灰黄色	細い	軟質	火山灰主体で所々火山灰シルト	2.90	1.15	1	1	2	2		
	火山灰	灰黄色	細い	軟質	若干シルト質である 少量のスコリア混入 2.00~2.50m層は茶褐色		1.50	20	15	35	2		
	火山灰	灰黄色	細い	軟質	若干土壌化シルト質		2.15	1	1	1	3		
	泥炭	茶褐色	軟質	軟質			2.45				9		
							3.15	2	3	4	9		
							3.45				30		
							4.15	3	2	1	6		
							4.45				30		
							5.15	3	4	4	11		
							5.45				30		
火山灰粗砂	火山灰粗砂	灰黄色	やや細い 中密	軟質	4.70m付近に木片 火山灰を混入する 9.60m付近に腐植土を0.10m程度挟む 少量のスコリア混入 砂粒子粗粒主体も不均一 7.00m付近に火山灰を混入する 全体に含水は多い		6.15	2	3	4	9		
							6.45				30		
							7.15	3	4	4	11		
							7.45				30		
							8.15	4	6	5	15		
							8.45				30		
							9.15	6	6	8	20		
							9.45				30		
							10.15	6	8	9	23		
							10.45				30		
火山灰	火山灰	灰黄色	中密 中密	軟質	火山灰の粒子は中粒主体だがやや不均一である 全体の含水は中位~やや多い 少量のスコリア混入 所々に火山礫~軽石を混入する		11.15	5	6	6	17		
							11.45				30		
							12.15	4	4	5	13		
							12.45				30		
							13.15	4	4	4	12		
							13.45				30		
							14.15	3	2	3	8		
							14.45				30		
							15.15	4	4	5	13		
							15.45				30		
							16.15	5	6	7	18		
							16.45				30		
							17.15	7	10	11	28		
							17.45				30		
							18.15	10	13	14	37		
							18.45				30		
							19.15	12	15	18	45		
							19.45				30		
							20.15	14	16	20	50		
							20.45				30		